

社会資本総合整備計画 事後評価

安全・安心な公園づくりの推進

(H26～H30)

朝霞市

令和元年 8 月 15 日

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年08月15日

計画の名称	安全・安心な公園づくりの推進												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	朝霞市												
計画の目標	朝霞市内にある遊具が設置されている全ての都市公園(36箇所)の長寿命化計画を策定し、計画的・効果的な公園施設の改築を行うことにより、施設の老朽化等による事故を防止し、市民が安全で安心して利用できる公園づくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	104	A	98	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	5.76	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	朝霞市公園施設長寿命化計画に基づいて管理されている都市公園の割合を0%(H26当初)から100%(H26末)にする 朝霞市公園施設長寿命化計画が策定され、それに基づいて管理されている都市公園の割合(%) 割合(%) = (策定都市公園数) / (対象都市公園数: 36公園)	0%	100%	100%
2	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設(遊具等)の割合を0%(H26当初)から60%(H30末)に増加 都市公園施設の改築・更新達成率(%) = (改築・更新実施済施設数) / (対象公園施設数: 131施設)	0%	20%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	-	朝霞市都市公園安全・安心対策事業(A-1)	長寿命化計画策定(36箇所)	朝霞市						8		策定済	
	A12-002	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	-	朝霞市都市公園安全・安心対策事業(A-1)	長寿命化対策(城山公園等36箇所における遊戯施設等の改築)	朝霞市						90		策定済	
												小計						98		
												合計						98		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	-	朝霞市児童遊園地安全対策事業（C-1）	児童遊園地 80箇所	朝霞市						6	-			
		都市公園の設置基準を満たしていないが都市公園の機能を補助するために設置され、市が管理している児童遊園地の遊具等の更新を一体的に行うことで、児童等の安全がより確保できる。																			
												小計						6			
											合計						6				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として朝霞市都市建設部みどり公園課で実施。	令和元年度
	公表の方法
	市ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市公園施設長寿命化計画に基づいて管理されている都市公園の割合について、最終目標値である100%を達成した。 ・長寿命化計画を策定したことにより、公園施設の改築等の対策が必要な公園が明らかになり、計画的に整備を実施することができた。また公園施設の更新を実施したことにより、市民が安全で安心して利用できる公園づくりの推進ができた。一方、改築・更新を実施した公園施設は68施設であり、達成率は52%となり最終目標値である60%を達成できなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	市が管理している児童遊園地の遊具等の施設においても、日常点検・定期点検を行い、計画的・効果的な遊具等の更新を実施したことにより、児童等の安全を確保できた。
特記事項（今後の方針等）	
次期社会資本総合整備計画では、公園利用者の安全と利便性を確保するような適切な維持管理に努めると共に、予算執行の平準化を図りながら計画的な修繕・更新を実施し、施設の延命化によるライフサイクルコストの縮減に努め、利用者に安心・安全な公園の維持管理に努めてまいります。また、改築・更新できなかった公園施設は、次期社会資本総合整備計画において早急に改築・更新を実施いたします。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	朝霞市公園施設長寿命化計画に基づいて管理されている都市公園の割合を0%（H26当初）から100%（H26末）にする	
	最終目標値	100%
2	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設（遊具等）の割合を0%（H26当初）から60%（H30末）にする	
	最終目標値	60%
	最終実績値	52%
		市内公園施設の中で、利用者の多い公園の安全を確保するために優先して改築・更新を行ったため。また、大規模な改修を優先して行ったところ、計画通りに改築・更新できず、改築・更新済施設数が減ったため、目標値と差が生じた。